

平成29年度 金井高等学校 不祥事ゼロプログラム実施状況

金井高等学校は、「教育委員会不祥事ゼロプログラム作成方針」に基づき、不祥事の未然防止を図るため次のとおり「不祥事ゼロプログラム」を策定・実施し、達成状況について検証を行った。

No.	項目	目標	実施結果	達成状況
1	法令順守意識の向上(公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む)	全教職員が公務外においても常に公務員としての自覚を持ち、法令を遵守して行動する。	①事故・不祥事防止会議等を開催し、公務の内外問わず、公務員としての自覚と倫理意識を持って行動するように意識の高揚を図った。 ②職員相互及び管理職とのコミュニケーションを大事にし、健康で明るく元気な風通しのよい職場づくりを推進した。	A
2	わいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ行為・セクシャルハラスメントの防止に関する教職員の理解を深め、不祥事発生を未然に防止する。	①わいせつ行為・セクシャルハラスメントの防止に関する事故・不祥事防止会議等を開催し、職員の事故・不祥事防止意識の高揚を図った。 ②携帯電話・スマートフォンや電子メール等の適切な使用に関する事故・不祥事防止会議及び職場研修会を開催し、職員の事故・不祥事防止意識の高揚を図った。	A
3	体罰、不適切な指導の防止	体罰・不適切指導の発生を未然に防止するとともに、生徒個々の状況に応じた対応を図る。	①体罰・不適切指導の防止に関する事故・不祥事防止会議等を開催し、職員の事故・不祥事防止意識の高揚を図った。 ②部活動顧問をはじめ、部活動インストラクター、部活動支援ボランティアに対して、部活動指導ハンドブック等を活用して事故防止意識の高揚を図った。 ③生徒の人権を尊重した適切な指導が行えるよう、教員間の連携と情報交換をきめ細かく実施した。	A
4	成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	定期試験及び成績処理等における事故防止及び進路関係書類の作成に関する事故防止を徹底する。	①成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故・不祥事防止会議等を開催し、職員の事故・不祥事防止意識の高揚を図った。 ②成績処理業務、試験問題作成、調査書及び各種証明書発行手続き等に関するマニュアルを整備するとともに、マニュアルに基づく業務遂行の徹底を図った。点検については、複数の担当により慎重かつ正確な点検を実施した。 ③試験問題・答案、一覧表等成績関係書類及び調査書の保管について徹底するとともに、廃棄文書の速やかな適正処分を実施した。	A
5	個人情報の管理、情報セキュリティ対策(パスワードの設定、誤廃棄防止)	重要個人情報の流失・漏洩事故を根絶する。	①個人情報の管理、情報セキュリティ対策に関する事故・不祥事防止会議及び職場研修会を開催し、職員の事故・不祥事防止意識の高揚を図った。 ②4月及び3月に各教職員の個人情報登録状況について確認するとともに、追加・変更があった場合の速やかな対応の徹底を図った。	B
6	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転、酒酔い・酒気帯び運転、交通法規の遵守	酒酔い・酒気帯び運転等の不祥事防止と交通法規遵守意識及び交通事故防止意識の啓発を図る。	①交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転等の不祥事防止に関する事故・不祥事防止会議等を開催し、職員の事故・不祥事防止意識の高揚を図った。 ②交通法規の遵守と交通事故防止について、日常の会議や打合せの機会を活用して啓発資料を配付するなどして、意識啓発に努めた。	A
7	業務執行体制の確保等	教職員が業務の流れを把握し、円滑に事務処理ができるようになる。	①業務遂行にあたっては、グループや学年内で情報共有するとともに、構成メンバーが相互に点検・確認をしたり、協力したりしながら業務を組織として計画的に執行できるように心掛けた。 ②業務の遅滞が発生しないように、年度末及び年度当初の業務引継ぎは、文書・資料等で確실히行った。また、ベテラン職員は若手職員に対して、業務に関する経験が円滑に引き継がれるように心掛けた。	A
8	会計事務等の適正執行(情報共有、相互チェック体制、業務協力体制)	私費会計の適切な運用について理解を深め、事故・不祥事防止を徹底する。	①私費会計に関する適正な処理に関する事故・不祥事防止会議等を開催し、職員の事故・不祥事防止意識の高揚を図った。 ②私費会計の各担当者は、会計事務の規則に従って(私費については「私費会計事務処理の手引き」)会計処理を行った。 ③私費会計について、会計処理や帳簿類の適正執行に関する監査を年に複数回実施し、改善点がある場合には、迅速に対応した。また、学校徴収金運営協議会へ状況を報告した。 ④会計に関する通知を出す場合は、慎重かつ正確なチェックを複数で実施した。 ⑤備品台帳を整備するとともに、定期的に点検を実施した。	A
9	入学者選抜に係る事故防止	教職員全体が事故・不祥事ゼロの意識を強く持ち、協力体制を確立する。	①入学者選抜に係る事故防止に関する事故・不祥事防止会議等を開催し、職員の事故・不祥事防止意識の高揚を図った。 ②県教育委員会の指示を仰ぎながら、入学者選抜に係るマニュアル及び点検体制を整備した。 ③面接・採点における校内の統一した基準づくりのために、研修会を行った。	A

<達成状況の評価区分>

- A … 行動計画に対して、ほぼ達成又はそれを超える状況になった。数値目標の80%以上の場合。
- B … 行動計画に対して、計画通りの状況ではないが一定の成果が上がっている。数値目標の50%以上80%未満の場合。
- C … 行動計画に対して、計画通りの状況にならなかった。数値目標の50%未満の場合。

<学校長の意見>

平成29年度金井高校不祥事ゼロプログラムの行動計画に基づいて、事故・不祥事防止会議を位置づけ、研修会等を効果的に実施するとともに、朝の打ち合わせ等において新聞報道等の事例を紹介しながら、教育長通知や関係資料により、職員への注意喚起を行い事故・不祥事の未然防止に取り組んできた。

その結果、一項目を除いて評価Aとなり、事故・不祥事防止についての意識向上に一定の成果を挙げることができたといえるが、項目5の個人情報の管理については、点検等が不十分な事案が発生したため、年度途中で確認体制を見直すこととなった。このことについては深く反省しており、今後は二度とこのようなことが発生しないようにする必要がある。

次年度は、不祥事ゼロプログラムの行動計画に即して、事故・不祥事防止会議、研修会等を実施するとともに、職員全体のコミュニケーションを密に図り、風通しのよい職場環境を構築し、事故・不祥事を出さない職場づくりに組織をあげて取り組んでいきたい。

<平成30年度に取り組むべき課題>

今年度の反省を踏まえて、次の5項目を重点課題として取り組む。

- 個人情報の管理、情報セキュリティ対策
- 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止
- 業務執行体制の確保等
- 会計事務等の適正執行
- 入学者選抜に係る事故防止